

燃料冷却43分停止

伊方3号外部電源一時喪失

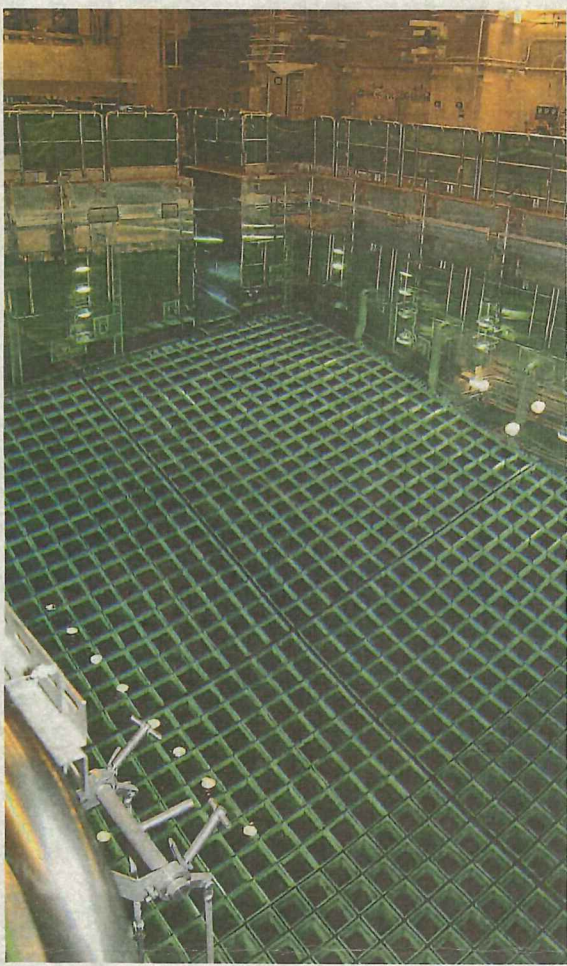
1504体保管のプール

四国電力伊方原発(伊方町)で外部電源を一時喪失したトラブルで、3号機の核燃料プールの冷却が43分間停止していたことが、四電への取材で5日までに分かった。プールには定期検査で原子炉から取り出したばかりの燃料157体がある。核燃料は原子炉停止後も「崩壊熱」を出すため冷やし続ける必要があるが、専門家は「一時的とはいえ冷却がストップした事実は重い」と指摘している。(3面に関連記事)

伊方原発は昨年12月に3号機が定期検査で運転停止していたが、1月25日午後3時44分、発電所内につなぐ送電線が断線され、2号機は使用済み核燃料16体を保管している。3号機は非常停止。外部から電力供給を断たれた3号機は、1月26日午後3時44分、燃料プールの冷却が43分間停止した。1月27日午後5時13分、最初の送電線(18万7千ワット)からの受電再開。

安全語る資格あるのか

松山大経済学部教授(原子力政策論)の張旭教授は、バックアップ設備が動いたことで問題なかったという考え方で、一般人との感覚からかけ離れている。そもそも、一時的とはいえ電源を喪失するというミスは、安全神話の下で育ったため「もし(バックアップ設備が)動かなければどうなっていたか」という視点はなく、そのギャップは永遠に埋まらないだろう。



伊方原発3号機の燃料プール。1月中旬、伊方町

用ディーゼル発電機が自動起動した。

四電はこれまでに「受電停止は1、2号機が3秒間、3号機は9秒間だった」と公表し、「バックアップ電源が正常に作動し、東京電力福島第1原発事故のように全交流電源を喪失したわけではない」と説明している。

だが、3号機の燃料プールの冷却はすぐ再開されたわけではない。プール内の水を循環させるポンプの電源を起動したのは43分後で、その間冷却は止まった状態だった。

豆知識

松山市が1月から医療費助成を拡充し、通院費を含めた子どもの医療費無料化の対象を広げたい。いつまでかな？
①小学生 ②中学生 ③高校生
あすの豆知識の小学校紹介は戸島小！
答えは16面。

伊方原発の外部電源一時喪失の流れ

	3号機	1・2号機
2019年12月26日	定期検査で運転停止	
2020年1月16日	原子炉から核燃料取り出し完了、プールで保管	
	プールの燃料保管状況 1504体(うち使用済み1379体)	2号機: 使用済み316体 1号機(廃炉作業中): ゼロ
25日	プールの水温 午後3時 33.0度 午後3時44分 送電線(18万7千ワット)からの受電停止 9秒後 非常用ディーゼル発電機が自動起動 午後4時11分 別の送電線(50万ワット)からの受電に切り替え 午後4時25分 非常用ディーゼル発電機停止 午後4時27分 燃料プール冷却再開 午後5時 34.1度 午後7時 33.8度	午後3時 16.7度 3秒後 別の送電線(6万6千ワット)から自動受電 午後5時7分 16.9度 午後5時19分 燃料プール冷却再開 午後7時 16.9度
27日	午後5時13分 最初の送電線(18万7千ワット)からの受電再開	

(四国電力への取材を基に作成)

この影響でプールの水温は電源喪失前(午後3時)の33.0度から、同5時に34.1度まで1.1度上昇した。四電によると規定の上限温度は65度で、トラブルを重く受け止めた。プールを重く受け止めたため、上限値よりも十分低い値で、冷却に問題はなかったとしている。

定検中の伊方3号機では1月以降、制御棒引き抜きなどのトラブルが続発し、現在定検作業を見合わせている。

(伊方原発トラブル取材班)

トランプ氏「偉大な米国復活」

一般教書演説 経済実績アピール

【ワシントン共同】トランプ米大統領は4日夜(日本時間5日午前)、上下両院合同会議で内外の施政方針を示す一般教書演説を実施し、再選を狙う11月の大統領選に向けて「偉大な米国の復活」を誇示した。鍵を握る労働者層への支援を訴え、雇用増加や失業率低下など好調な経済実績をアピールした。

トランプ氏は演説で、イラン革命防衛隊の有力司令官殺害を誇示し「イラン指

は「米国は他国の警察ではない」と述べ、撤収に向け取り組んでいると強調した。

不法移民対策では、メキシコ国境の「壁」の約160キロを完成させたこと、来年初めまでに800キロ以上を完成させると表明し

リング(株)

哉
ジン・土木建築
が応じます
896) 28-1355
古屋・大阪・福岡